

# 避難訓練 評価報告書

<個別事案と今後について>

作成日：令和元年 12 月 20 日  
作成者：学校法人木の実学園  
木の実幼稚園  
理事長 中矢謙一郎

## <総評>

今年で7回目となるこの度の避難訓練も、避難先である垣生中学校はもとより、垣生地区の自主防災会連合会や交通安全協議会、垣生駐在所より御理解と御協力を賜れたおかげで執り行えたものであり、地域の方々へ深く感謝申し上げます。

今回も垣生中学校の先生方と中学2年生の皆さんのご協力により、中学2年生が年少児と年中児を校舎4階の多目的スペースまで垂直避難させるという合同避難訓練の形を取れ、子どもたちにとって「津波から身を守る」とはどういう行動なのかを体験する大変貴重な機会となりました。

避難訓練は、上述の各会の方々が避難に同行下さったりルートの要所に立って下さったりしたおかげで、今年も大きな事故なく全参加園児が無事に垣生中学校へ到着致しました。最後尾の到着までにかかった時間は、これまでの平均時間より数分の遅れがありましたが、津波被害から身を守るための避難行動にかけられる時間（2時間余り）に対して、十分許容範囲と言えます。右に記す今後の課題等と共に、引き続き訓練を継続する中で小さな改善点を積み重ね、子どもたちの防災教育に努めてまいります。

## <記録：避難開始から垣生中学校到達までに要した時間>

平成 24 年度： 先頭の到着 ⇒ 41 分 最後尾の到着 ⇒ 50 分（9 分差で到着）  
平成 25 年度： 先頭の到着 ⇒ 21 分 最後尾の到着 ⇒ 26 分（5 分差で到着）  
平成 26 年度： 先頭の到着 ⇒ 24 分 最後尾の到着 ⇒ 28 分（4 分差で到着）  
平成 27 年度： 先頭の到着 ⇒ 24 分 最後尾の到着 ⇒ 30 分（6 分差で到着）  
平成 28 年度： 先頭の到着 ⇒ 19 分 最後尾の到着 ⇒ 23 分（4 分差で到着）  
平成 29 年度： 先頭の到着 ⇒ 21 分 最後尾の到着 ⇒ 26 分（5 分差で到着）  
平成 30 年度： 雨天により中止

令和 01 年度： 先頭の到着 ⇒ 25 分 最後尾の到着 ⇒ 30 分（5 分差で到着）

避難開始から最後尾到着までの平均時間 ⇒ 27 分 \* 実施初年度を除く

- ・避難時の隊列の組み方は、安定した速度で歩く上で年長（5歳児）と年少（3歳児）がペアになることが大変有効であり、この隊列を定型として維持しています。
- ・隊列を大きな4つのグループに分割して避難することを今年度も継続しました。以前は長い隊列の途中で繰り返し発生していた小さな遅れの蓄積により、隊列の後方では早歩きか、時には駆け足のように進まなければ隊列を維持できなかったことへの反省から出たものでした。小さな遅れの蓄積を解消し、安定した速度で安全に歩行する点に改善が見られ、それが安定したタイムで避難行動をとれている要因であると認識しています。
- ・隊列の位置や学年により怪我がどの程度発生するか実態把握をする為、前々回の訓練から転倒して怪我をした園児数をカウントしております。結果としては、隊列を4グループに分けたことで歩行速度が安定し（前のクラスに追いつくための小走り等が減った）、そのため怪我の発生は著しく減少した程度を維持できました。

（平成 29 年度）	参加園児 292 名	怪我の発生件数 32 件	怪我の発生率 10.9%
（平成 30 年度）	参加園児 336 名	怪我の発生件数 14 件	怪我の発生率 4.2%
（令和 01 年度）	参加園児 328 名	怪我の発生件数 6 件	怪我の発生率 1.8%

- ・今回は年少児（3歳児）だけでなく、昨年雨天のため中止されたことにより垂直避難を体験できていなかった年中児（4歳児：昨年3歳児）も、校舎4階へ引率頂きました。おかげさまで、「津波から身を守る」ということがどういう行動かを知り大変貴重な体験をさせて頂きました。今後も継続頂けると幸いです。
- ・横断歩道を使用する直前には、速やかに渡れるよう各クラス前に詰めて並ぶようにしているが、その為に他の通行人が通れなくなってしまう場面があった。次回の訓練では、歩道においては地域の方が通行できるスペースを確保して並ぶよう注意が必要である。
- ・南海トラフ大地震の際に発生する津波により、瀬戸内の松山地方に第一波が到達（1mの水位上昇）が始まるまでに2時間強の時間があるとされています。東日本大震災の際に大変短い時間で津波が到達した地区地域であっても、命を落とした人がゼロの場所もありました。この事実を踏まえ、訓練の結果に満足せず、学校全体の習慣および約束事として「いざという時の行動」を明確にすべく、今後も訓練・評価・改善を継続していきたいと考えております。今年度も、大変お世話になりました。

（以上）